

| | | | | | | | |
|---|---|-----|------|---------|--------------------------------------|-------------------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 共通福祉演習 (DA113) | | | 担当教員 | 裊 孝承・梅野 潤子・浦 秀美・齊藤 晋治・大島 啓 | | |
| 展開方法 | 演習 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 2 年次以降のコース選択を視野に入れつつ、福祉人材に求められるソーシャルワーク・ケアワーク・メンタルヘルス・コミュニティづくり実践に係る初歩的な知識と技術について実践的に習得する。 | | | | | | | ①②⑤⑥⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力△ | 福祉人材に求められる初歩的な知識と技術についてグループワークの中で使用し得る。 | | | | グループワーク | 5% | |
| 情報収集、分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | グループワークに参加し、自分の意見やディスカッション等の成果について他人に伝えることができる。 | | | | グループワーク グループ発表 小レポート 期末レポート | 5% 20% 20% 20% | |
| 協働・課題解決力 | グループワークで取り組む課題について、他のメンバーと協働し、解決に向けて貢献できる。 | | | | グループワーク | 10% | |
| 多様性理解力 | グループワークにおける多様な意見を理解し、認め、文章で振り返り、参考にできる。 | | | | 振り返りシート | 20% | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>期末レポート（20%）では、学んだ専門的な援助技術を正しく理解し、応用できるかを評価する。文字数不足及び誤字、脱字は減点の対象とし、未提出の場合は単位認定を行わない。グループワーク（20%）では、毎回のディスカッションや課題に貢献できたかを評価する。ポートフォリオ上の小レポート（20%）では、各コース体験演習の成果を適切にまとめられるかを評価する（計4回）。グループ発表（20%）では、毎回のグループワークでは意見を述べ、ディスカッション等の成果を適切にプレゼンテーションできるかを評価する。振り返りシート（20%）では、毎回のグループワークに対して考察できるかを評価する（計10回）。フィードバックはその都度、ポートフォリオ上と授業内で行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度（事前ワークシートを持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等）は、発覚した場合に減点の対象となる。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>各コースの体験型演習では、毎回のグループワーク（ディスカッションとプレゼンテーション）を通して、ソーシャルワーク・ケアワーク・メンタルヘルス・コミュニティづくりの各種福祉実践の理解を深める。</p> <p>本科目の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：レジュメやワークシート等を配布する。</p> <p>参考書：鶴 幸一郎他（2019）『福祉は誰のために：ソーシャルワークの未来図』へるす出版。 中村 剛（2016）『自分の将来を考えている“あなた”へ：これがソーシャルワークという仕事です「尊厳を守り、支え合いの仕組みを創る」』みらい。</p> <p>指定図書：井手 英策他（2019）『ソーシャルワーカー：「身近」を革命する人たち』筑摩書房。 里村佳子（2019）『尊厳ある介護』岩波書店。 木下 大生他（2015）『知りたい！ソーシャルワーカーの仕事』岩波書店。 宮本 節子（2013）『ソーシャルワーカーという仕事』筑摩書房。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>毎回、グループワークを実施するため、事前ワークシートを記入して参加すること。 グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。</p> | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|------------------|---|---|
| 1 | オリエンテーションと導入 | 本科目の位置づけとシラバスの確認を経て、導入の説明を行う。(表) | 予習：シラバスの熟読 復習：振り返りシート①の提出 |
| 2 | アイスブレイク | 各コース体験の参加型演習に向けて、受講者間の交流を促すアクティビティを行う。(表) | 予習：自己紹介の準備 復習：振り返りシート②の提出 |
| 3 | ソーシャルワークコース体験演習① | 社会福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(梅野) | 予習：コースイメージの整理 復習：振り返りシート③の提出 |
| 4 | ソーシャルワークコース体験演習② | 社会福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(梅野) | 予習：事前ワークシートの記入 復習：振り返りシート④の提出 |
| 5 | ソーシャルワークコース体験演習③ | 社会福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(梅野) | 予習：事前ワークシートの記入 復習：小レポート①の提出 |
| 6 | ケアワークコース体験演習① | 介護福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(浦) | 予習：コースイメージの整理 復習：振り返りシート⑤の提出 |
| 7 | ケアワークコース体験演習② | 介護福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(浦) | 予習：事前ワークシートの記入 復習：振り返りシート⑥の提出 |
| 8 | ケアワークコース体験演習③ | 介護福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(浦) | 予習：事前ワークシートの記入 復習：小レポート②の提出 |
| 9 | メンタルヘルスコース体験演習① | 精神保健福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(齊藤) | 予習：コースイメージの整理 復習：振り返りシート⑦の提出 |
| 10 | メンタルヘルスコース体験演習② | 精神保健福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(齊藤) | 予習：事前ワークシートの記入 復習：振り返りシート⑧の提出 |
| 11 | メンタルヘルスコース体験演習③ | 精神保健福祉士養成教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(齊藤) | 予習：事前ワークシートの記入 復習：小レポート③の提出 |
| 12 | コミュニティコース体験演習① | 福祉コミュニティづくり教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(大島) | 予習：コースイメージの整理 復習：振り返りシート⑨の提出 |
| 13 | コミュニティコース体験演習② | 福祉コミュニティづくり教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(大島) | 予習：事前ワークシートの記入 復習：振り返りシート⑩の提出 |
| 14 | コミュニティコース体験演習③ | 福祉コミュニティづくり教育の2年次以降の実際のあり方について体験的に学ぶ。(大島) | 予習：事前ワークシートの記入 復習：小レポート④の提出 |
| 15 | まとめとコース選択 | 全体のまとめを経て、2年次以降のコース選択オリエンテーションを行う。(表) | 予習：自己紹介の準備 復習：期末レポートの提出 (コース希望調査票を含む) |